

看護管理

04 Vol.21
No.04
2011
April

特集

2

経営感覚を看護部の 組織文化にする取り組み

国立病院機構では2004年の独立行政法人化以降、さまざまな経営的努力を続け、現在では4分の3以上の施設が黒字転換している。経営状況を全施設がオープンにしたことで、経営改善に向けた職員の意識改革にもつながった。このようななか、独法化直後の2年間、看護師長を対象に、病院経営を基礎から学ぶ“やるき塾”を実施し、看護部門の経営に対する意識改革に貢献した。このやるき塾の成果を紹介し、各施設の中間管理者教育の参考にさせていただく機会としたい。